

2017年1月23日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2016年12月実績、2017年1月見通し)

[概況] 小企業の売上 DI は、マイナス幅が拡大
～1月はマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2016年12月の売上 DI は、11月(▲13.7)からマイナス幅が0.8ポイント拡大し、▲14.5となった。2017年1月は、▲5.4とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲2.0→▲9.7)、非製造業(▲12.9→▲16.0)ともにマイナス幅が拡大した。

2 採算

2016年12月の採算 DI は、11月(3.4)から1.6ポイント上昇し、5.0となった。2017年1月は、6.9とさらに上昇する見通しとなっている。

3 半期の景況感

2016年下半期の景況感 DI は、2016年上半期(▲40.3)からマイナス幅が縮小し、▲15.7となった。2017年上半期は、▲13.3とマイナス幅が縮小する見通しである。

<調査の要領> 調査時点 2017年1月6日～11日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
有効回答企業数 1,219企業
回答率 81.3%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:鈴木、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製造業（従業者 20 人未満）

卸売業（同 10 人未満）

小売業（同 10 人未満）

飲食店（同 10 人未満）

サービス業（同 20 人未満）

建設業（同 20 人未満）

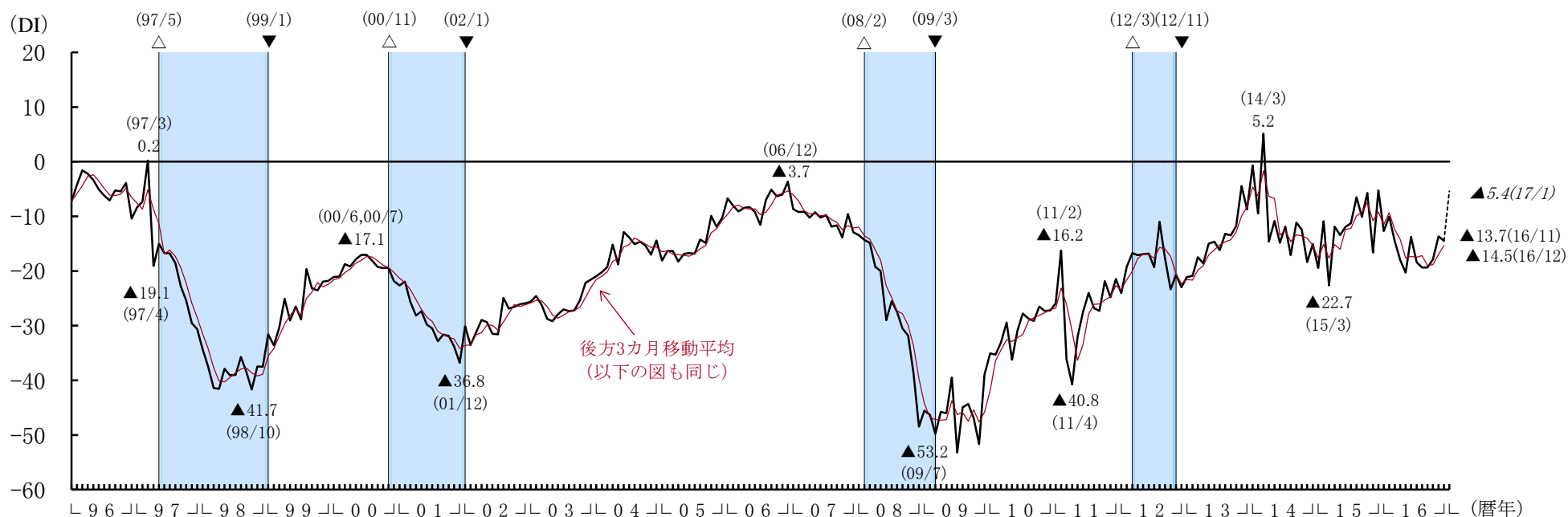
運輸業（同 20 人未満）

1 売上

- 12月の売上DIは、11月からマイナス幅が0.8ポイント拡大し、▲14.5となった。1月は、▲5.4とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲2.0→▲9.7)、非製造業(▲12.9→▲16.0)ともにマイナス幅が拡大した。1月は、製造業では▲4.4、非製造業では▲5.7と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、卸売業、小売業、建設業でマイナス幅が拡大している。1月は、全ての業種で上昇する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

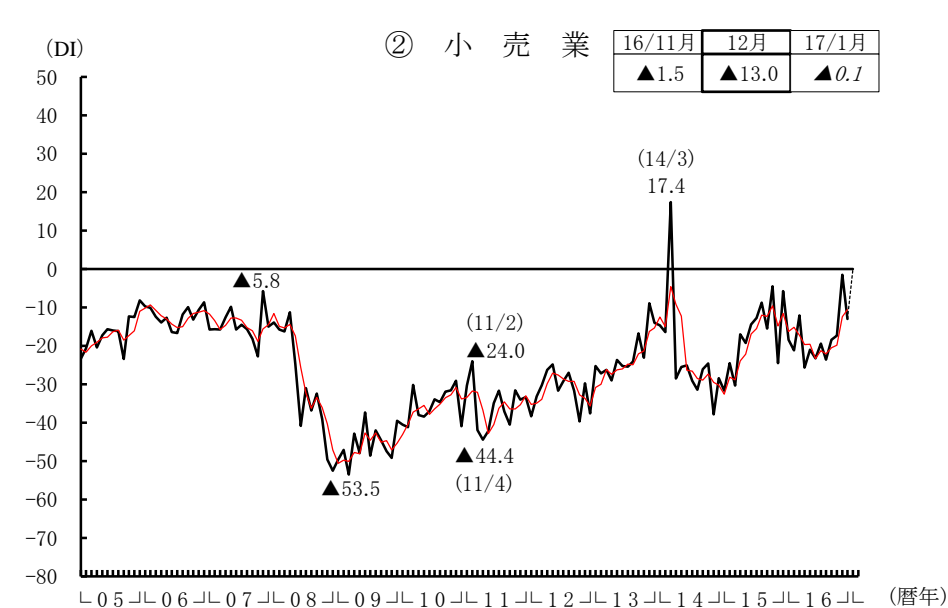
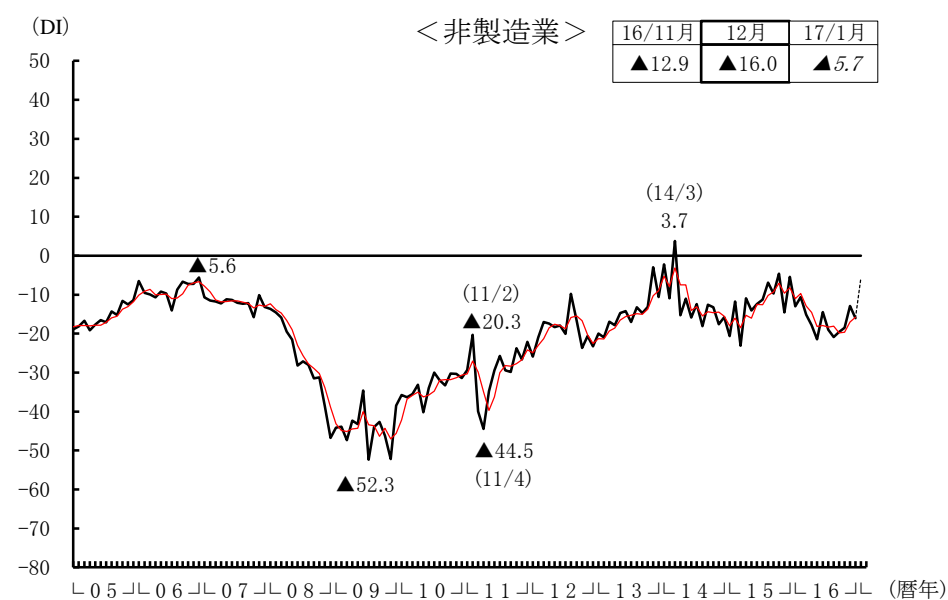
	2015/12月	2016/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017/1月
実績	▲ 5.3	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 14.6	▲ 18.0	▲ 20.3	▲ 13.8	▲ 18.4	▲ 19.3	▲ 19.3	▲ 17.9	▲ 13.7	▲ 14.5	-
見通し	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 8.1	▲ 3.5	▲ 6.4	▲ 15.8	▲ 12.6	▲ 13.6	▲ 13.3	▲ 13.8	▲ 8.0	▲ 8.9	▲ 5.0	▲ 5.4



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、 - - - - - は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



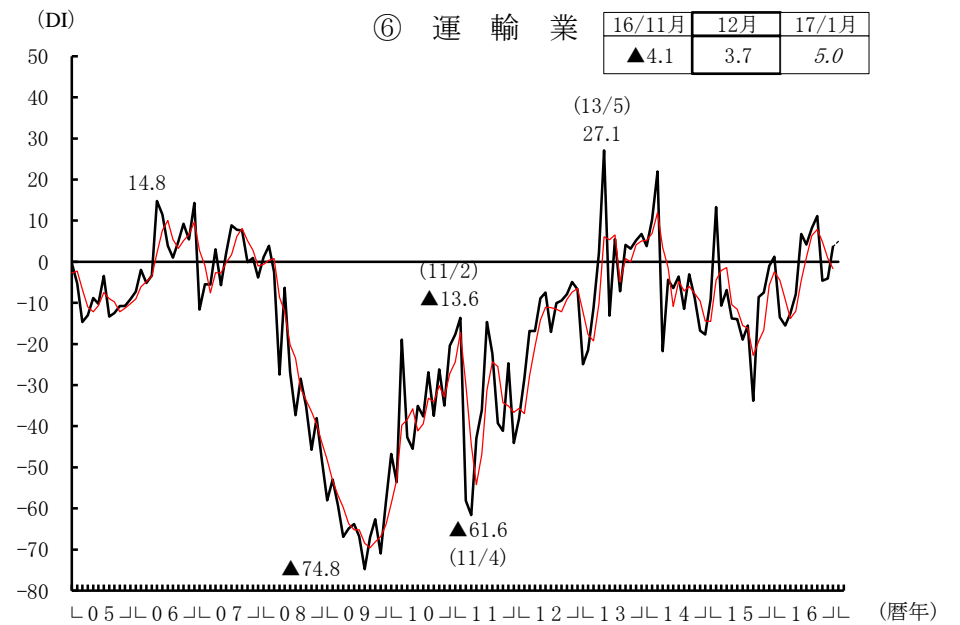
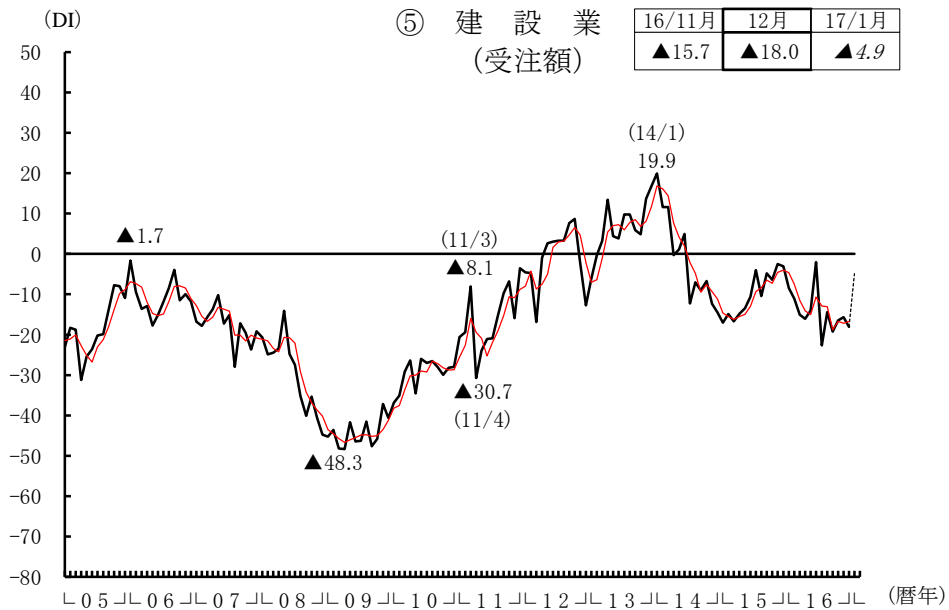
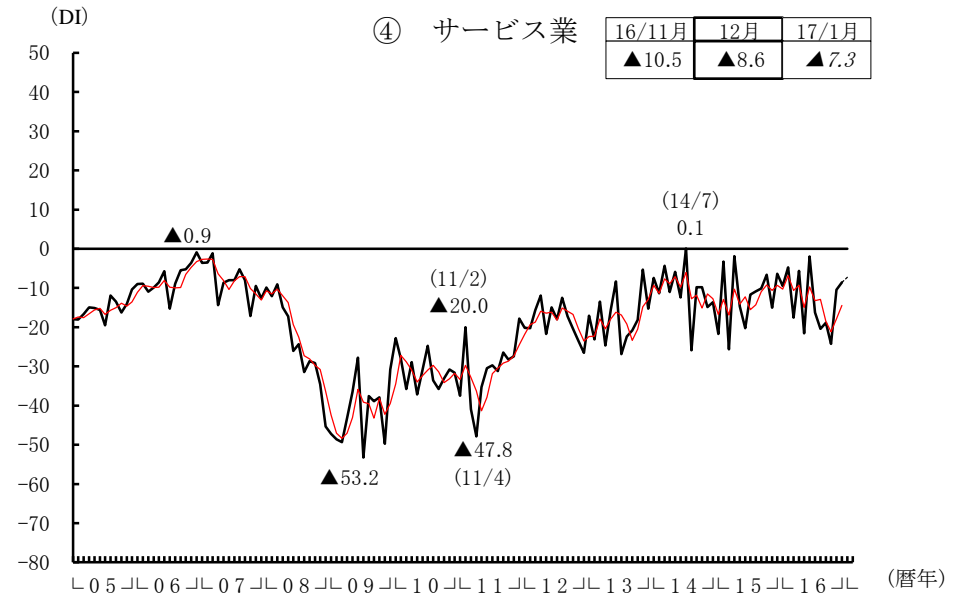
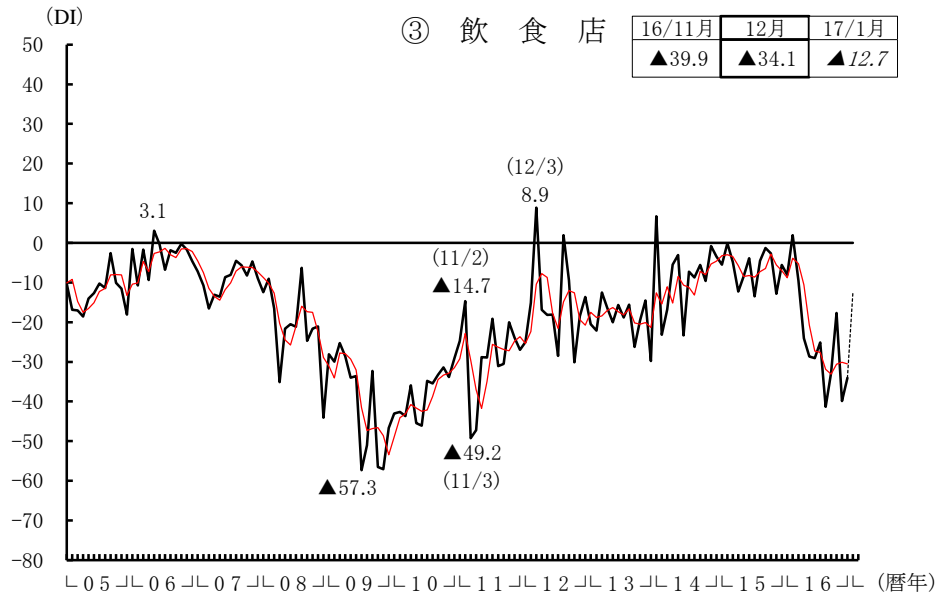


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2015年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	
製造業	▲12.8	▲3.0	▲13.9	▲15.5	▲15.6	▲10.6	▲12.7	▲11.1	▲10.5	▲14.1	▲14.1	▲10.9	▲16.6	▲7.6	▲18.0	▲15.5	▲2.0	▲9.7	▲4.4	製造業
金属・機械	▲16.5	▲8.5	▲18.3	▲18.9	▲17.2	▲9.2	▲11.0	▲15.0	▲10.9	▲16.3	▲13.8	▲4.3	▲19.7	▲2.1	▲4.5	0.3	▲2.6	13.4	▲2.2	金属・機械
その他製造	▲8.1	▲4.8	▲10.9	▲11.9	▲19.3	▲10.9	▲13.8	▲6.6	▲8.0	▲8.3	▲13.7	▲15.2	▲12.4	▲19.2	▲30.4	▲28.2	▲6.2	▲28.9	▲6.0	その他製造
非製造業	▲11.2	▲6.9	▲9.7	▲4.6	▲14.5	▲5.4	▲13.0	▲10.6	▲15.1	▲17.8	▲21.5	▲14.4	▲19.0	▲20.8	▲19.6	▲18.5	▲12.9	▲16.0	▲5.7	非製造業
①卸売業	▲10.0	▲9.8	▲10.8	▲8.9	▲12.6	▲8.8	▲15.5	▲7.5	▲12.4	▲5.7	▲24.0	▲16.2	▲9.6	▲4.5	▲2.6	▲22.5	▲9.1	▲13.0	▲3.9	①卸売業
繊維・衣・食	▲6.5	▲14.5	▲8.4	▲0.7	▲8.8	▲9.8	▲18.7	▲17.1	▲21.2	▲13.9	▲27.6	▲32.3	▲24.4	▲15.1	▲2.6	▲27.0	▲23.5	▲33.9	▲4.6	繊維・衣・食
機械・建材	▲12.5	▲6.8	▲14.1	▲14.9	▲19.0	▲3.3	▲11.7	▲0.6	▲1.3	▲11.7	▲17.7	▲1.0	0.9	2.7	▲4.2	▲19.2	▲2.3	7.0	▲2.0	機械・建材
②小売業	▲12.8	▲8.8	▲15.5	▲4.6	▲24.5	▲5.8	▲18.5	▲21.2	▲12.1	▲25.7	▲21.1	▲23.3	▲19.4	▲23.6	▲18.5	▲17.4	▲1.5	▲13.0	▲0.1	②小売業
耐久消費財	▲2.5	▲1.4	▲8.6	▲2.2	▲15.8	▲2.0	▲6.4	▲22.8	▲9.6	▲30.2	▲18.8	▲19.2	▲15.6	▲16.9	▲8.2	▲16.9	▲6.6	▲11.2	▲7.9	耐久消費財
非耐久消費財	▲14.1	▲9.8	▲16.6	▲4.9	▲25.5	▲7.4	▲21.8	▲20.6	▲13.0	▲23.5	▲22.8	▲23.9	▲19.8	▲24.4	▲20.1	▲17.4	0.1	▲14.5	1.5	非耐久消費財
③飲食店	▲13.5	▲4.5	▲1.3	▲2.6	▲12.9	▲5.5	▲8.0	2.0	▲9.6	▲24.1	▲28.7	▲29.1	▲25.1	▲41.4	▲32.8	▲17.6	▲39.9	▲34.1	▲12.7	③飲食店
④サービス業	▲11.7	▲10.9	▲10.1	▲6.6	▲15.1	▲6.4	▲9.5	▲4.8	▲17.6	▲5.6	▲21.6	▲2.0	▲16.2	▲20.4	▲18.9	▲24.3	▲10.5	▲8.6	▲7.3	④サービス業
事業所向け	▲13.2	▲5.0	▲17.0	▲19.7	▲18.0	▲9.2	▲7.2	10.0	▲16.5	▲13.3	▲9.4	▲10.2	▲8.8	▲9.4	▲16.2	▲9.6	▲1.1	▲18.4	▲10.7	事業所向け
個人向け	▲11.7	▲11.7	▲8.2	▲2.0	▲16.0	▲5.8	▲10.4	▲7.1	▲19.7	▲3.3	▲25.6	1.7	▲18.9	▲22.7	▲19.8	▲28.0	▲15.1	▲5.9	▲5.1	個人向け
⑤建設業	▲4.0	▲10.5	▲4.8	▲6.4	▲2.5	▲3.1	▲8.4	▲11.1	▲15.0	▲16.1	▲14.0	▲2.0	▲22.6	▲14.4	▲19.3	▲16.5	▲15.7	▲18.0	▲4.9	⑤建設業
⑥運輸業	▲18.9	▲15.5	▲33.8	▲8.6	▲7.5	▲1.0	1.2	▲13.5	▲15.5	▲12.5	▲7.9	6.8	4.2	8.2	11.1	▲4.6	▲4.1	3.7	5.0	⑥運輸業
道路貨物	▲20.4	▲23.9	▲40.7	▲10.8	▲9.2	▲1.9	1.9	▲19.4	▲15.1	▲8.4	▲0.7	12.0	12.1	11.0	18.2	4.2	▲4.6	6.5	4.3	道路貨物
個人タクシー	▲6.3	26.0	▲0.4	2.8	▲6.0	5.1	▲0.8	▲22.9	▲5.3	▲23.1	▲32.2	▲23.8	▲21.2	7.2	▲10.1	▲38.2	▲9.0	▲5.7	6.4	個人タクシー
全業種計	▲11.3	▲6.5	▲10.1	▲5.7	▲16.6	▲5.3	▲12.7	▲10.1	▲14.6	▲18.0	▲20.3	▲13.8	▲18.4	▲19.3	▲19.3	▲17.9	▲13.7	▲14.5	▲5.4	全業種計

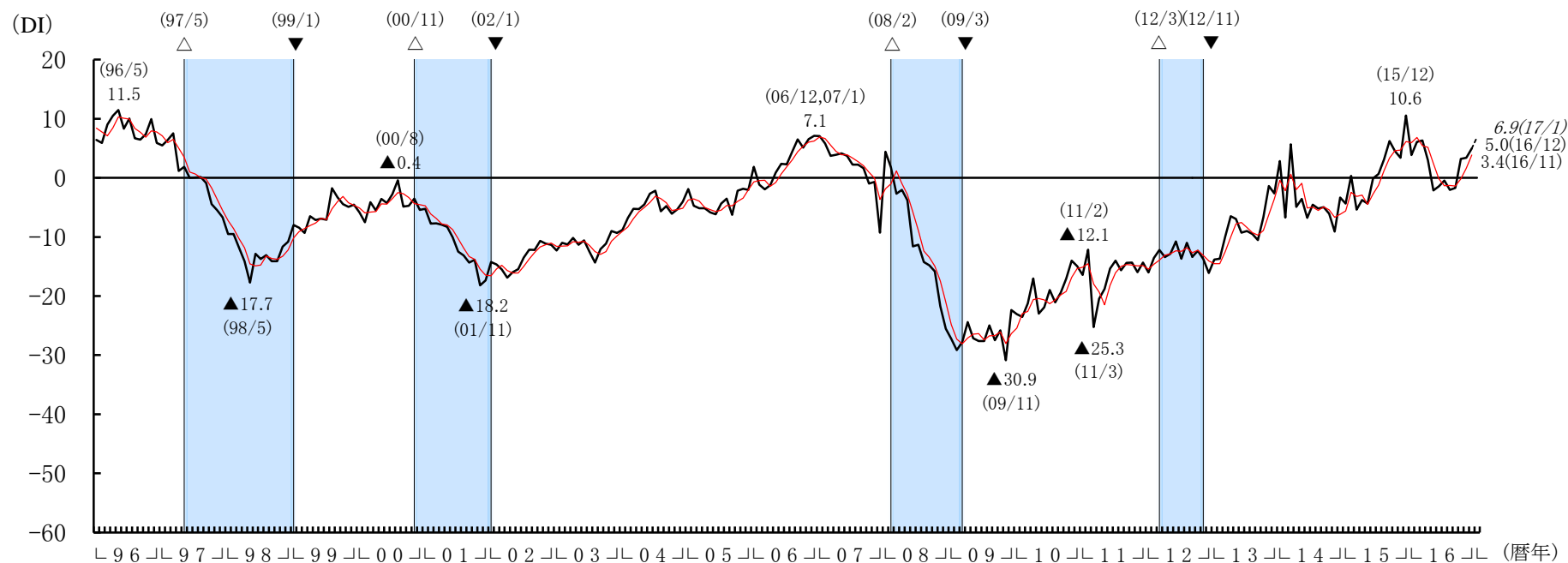
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 12月の採算DIは、11月から1.6ポイント上昇し、5.0となった。
- 1月の採算DIは、6.9とさらに上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2015/12月	2016/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017/1月
実績	10.6	3.9	6.1	6.3	3.0	▲2.1	▲1.4	▲0.4	▲2.0	▲1.7	3.2	3.4	5.0	-
見通し	9.3	12.0	3.5	13.9	9.0	4.1	1.9	3.6	3.1	4.8	7.5	7.4	12.0	6.9

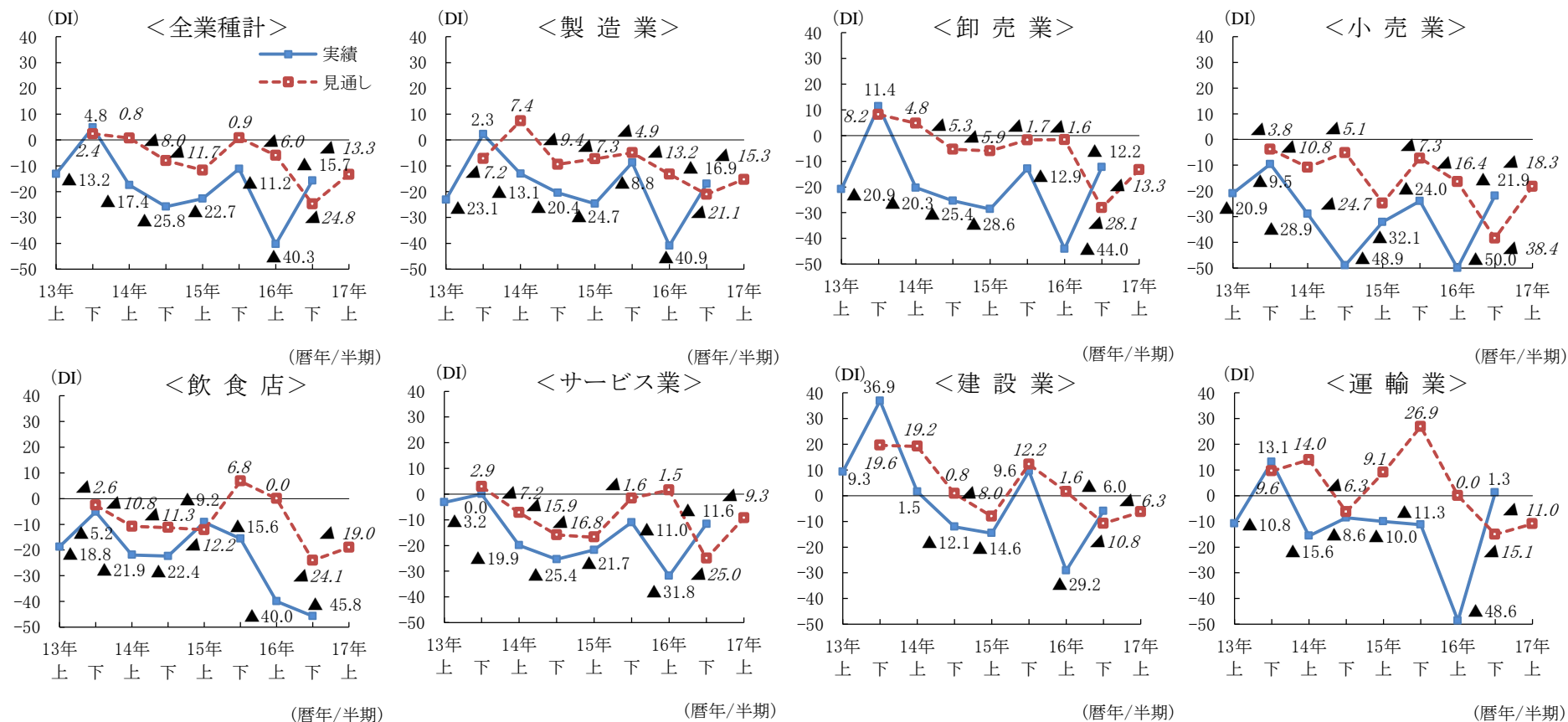


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 半期の景況感(自社の業績や顧客の様子などから総合的に判断したもの)

- 2016年下半期の景況感DI(実績)は、2016年上半期からマイナス幅が24.6ポイント縮小し、▲15.7となった。業種別にみると、飲食店を除く全ての業種で前期から上昇している。
- 2017年上半期の景況感DI(見通し)は、▲13.3と2016年下半期実績を上回っている。

図-4 景況感の推移



(注) 1 景況感について、それぞれ前期実績と比べて尋ねている。
 2 景況感DIは、前期比で「上昇」企業割合-「下降」企業割合。斜体は見通しを示す。